

常任委員会 行政視察報告

福生市議会では、全国の市町村の特色ある施策を、今後のまちづくりの参考にするため委員会等の視察を行っています。今回は、3常任委員会が先進地の視察を行いました。

※行政視察報告書の本文を市議会ホームページに掲載しています。

建設環境委員会

視察目的 ①歩く旅のまちづくり事業及びたまり駅事業について

②コンパクトシティの計画と実践について

視察先 ①新潟県新発田市 ②山形県鶴岡市

視察日 平成23年10月4日(火)～5日(水)



▲鶴岡市を視察

①市街地に点在する歴史資源や観光資源を体系的に統合し、商店街と観光施設を結ぶお休み処「たまり駅」を設け、歩く旅のルートを設定することで回遊性を高め、観光客の増加

と市街地の賑いの復活を目的とし、平成15年から始まった事業です。

②中心市街地の高齢化や商業の衰退に対処するため、都市機能の中心市街地への集約を基本に、平成13年に都市計画マスタープランを策定し、コンパクトシティの構想を確立しました。具体的には、都市計画の見直し、病院・教育・研究施設の中心市街地内での整備・移転、鶴岡城跡を中心とする建物の高さ制限の導入などです。

今回の両視察地の事業は、一定の成果をあげていますが、時代の変化の中、中心市街地や商店街の活性化の難しさを改めて感じました。

市民厚生委員会

視察目的 ①富山型デイサービスについて

②松本市熟年体育大学について

視察先 ①富山県富山市 ②長野県松本市

視察日 平成23年10月18日(火)～19日(水)

①富山市では通所介護事業所等で、在宅障害者(児)がデイサービスを受けられるようになっています。小規模の事業所が身近にあることの利便性に加え、「お年寄り」「障がい者」「子ども」と仕切るのではなく、障がいがあってもな

くても一緒に過ごすことで、心のバリアフリーが実現していました。



▲松本市を視察

②松本市では、平成9年から、信州大学との共同事業として、「熟年体育大学」を実施、市民が生涯健康で過ごせるように日頃の生活習慣を見直し、運動の大切さを学ぶ機会を提供しています。日頃、運動の機会が少なかつた方に、運動のキッカケづくりを提供すること、受講者の血圧等の数値が改善、卒業生の自発的活動も広がっていました。

総務文教委員会

視察目的 ①聖籠中学校の特色ある取り組みについて

②長岡市の防災行政について

視察先 ①新潟県聖籠町 ②新潟県長岡市

視察日 平成23年10月24日(月)～25日(火)

①聖籠中学校は、学校統合をきっかけに、教科ごとに教室を移る「教科センター方式」の採用とともに、ICT教育の推進をスクリーンオープンネットワークという形で実現を図った。教科センター方式では教員は必要な資機材を移動させることがなく、また隣接するスペースには関連図書、インターネットに接続可能なパソコンも用意されており効果的な学習を図ることが可能となっている。

②長岡市の防災対策は、新潟中越地震をはじめ、水害、雪害等の被害を受けられている長岡市では、各種災害対応のマニュアルを作成するとともに、市民向けには災害ごとに分冊化するなど、非常に参考となる対応がされている。併せて、中越市民防災安全大学を開校し地域の防災リーダーを多くつくることなど、災害発生直後の時間帯での対応が大変重要であることを学びました。



▲長岡市を視察

災害に強いまちづくり 特別委員会

12月9日に委員会が開催されました。

◎この間の福生市の取り組みについて

はじめに、前回の委員会で以降、市として取り組んできたことについて理事者から報告がありました。

①自主防災組織マニユアル案を再検討しました。

②シナリオのない防災訓練について消防署と協議しました。

③地域防災計画の見直しに向けて庁内にワーキングチームを作りました。

④公民館の集いで、防災対策について市民と意見交換しました。

◎自主防災組織の充実・強化について

前回の委員会に引き続き、福生市において最も想定される大地震による災害にしばり、重要な役割が期待される自主防災組織について、具体的に状況を想定し、災害発生1日目をシミュレーションしながら検討しました。

①地域医療機関との連携

②自助・公助の情報をどう作り伝達するか

③自助

避難・救助 消火・家族の安全確認 非常持ち出し

④共助

近所救助・要援護者介

助(近所の安否確認

◎各自自主防災組織 安否確認・連絡 調達・救護 避難所の台所・一時避難場所へ避難または代表派遣(情報 食料)

◎災害用備蓄倉庫や自主防災倉庫の管理

◎避難所の運営

今回は、自主防災組織について、さらに災害発生2日目、3日目をシミュレーションしながら検討します。

横田基地対策 特別委員会

12月9日に開催され、次の案件を討議しました。

◎東京都が実施した航空機騒音調査結果について

この調査結果は平成22年度の調査結果であり、直近の数値は出ないのか等の質問がありました。福生市の測定数値はホームページに公開しているが、その資料も提示して欲しいとの要望があり、今回の委員会で説明することになりました。

基地内に保管されている放射性廃棄物について、横田基地消防隊所属の消防車が福島県ドレレッジに保管されていることと全国の米軍基地での保管状況の報告を受けました。

◎特定防衛施設周辺整備 調整交付金について

平成23年度の交付額が確定し、金額は3億6074万4千円で、前年度との比較では7381万2千円の増額となります。

◆この冬、皆既月食、ふたご座流星群など天体ショーも体験しました。

自然の力には及びませんが、市民の皆さまに分かりやすい議会を目指して頑張っています。



▲自衛隊横田基地のメインゲート(第5ゲート)

◎5市1町による総合要請について

「横田基地周辺市町基地対策連絡会」の5市1町による総合要請の内容について説明を受けました。

◎航空総隊司令部等の移駐状況について

移駐関連工事については、隊舎・将官宿舎が今年度中の完成、通信線路整備工事は24年6月完成予定とのことです。隊員の移転は順次実施されており、今年度中に完了する予定とのことです。

◎横田基地に関する事件、事故等について

10月27日に調布飛行場に予防着陸したヘリコプターは、飛行中に警告ランプが点灯したため、安全を第一に考えての着陸だったとのこと。

基地内に保管されている放射性廃棄物について、ホームページがリニューアルしたことから行政視察報告書に載せることになりました。昨年10月に各常任委員会で行った行政視察を行いました。その報告書から対象になり、議長交際費とともに公表しています。どうぞご覧ください。

◆この冬、皆既月食、ふたご座流星群など天体ショーも体験しました。自然の力には及びませんが、市民の皆さまに分かりやすい議会を目指して頑張っています。

◆この冬、皆既月食、ふたご座流星群など天体ショーも体験しました。

自然の力には及びませんが、市民の皆さまに分かりやすい議会を目指して頑張っています。

◆この冬、皆既月食、ふたご座流星群など天体ショーも体験しました。

自然の力には及びませんが、市民の皆さまに分かりやすい議会を目指して頑張っています。

◆この冬、皆既月食、ふたご座流星群など天体ショーも体験しました。

平成23年最後の定例会が12月16日に閉会となりました。今定例会では19名の議員(議長を除く全員)が一般質問を行いました。議員は6万市民からの負託を受け議会で発言することになります。◆中でも一般質問はどのような行政課題に対して市長や教育長に質問し、要望することが出来ます。市民目線に立った質問を心がけていますが、そのための準備も大変です。閉会中であっても調査・研究に取り組んでいます。◆第3次議会改革も検討が続けられています。全議員で構成する検討協議会を閉会中も開催し、できることはすぐにでも実行に移します◆市議会のホームページがリニューアルしたことから行政視察報告書に載せることになりました。昨年10月に各常任委員会で行った行政視察を行いました。その報告書から対象になり、議長交際費とともに公表しています。どうぞご覧ください。

編集後記

